

- ④ 防災委員会を定期的に開催し、施設の保全と事故防止を図った。特に、野外パトロール隊を編成し、山火事等の防止につとめた。
- ⑤ 食中毒の防止については、月例給食委員会を開催し予防指導と食品管理・調理員の衛生指導の徹底を図った。
- ⑥ 野外活動における事故防止は、野外施設及び活動コースの安全点検と引率者との連携を密にして、防止に万全を期した。
- ⑦ 関係機関に建物の防火査察の実施を依頼し、建物の保全・事故防止・機械等の取扱い等について指導を受け、建物の保全と事故防止に万全を期した。
- (6) 職員研修の充実と資質の向上
- ① 少年自然の家の望ましい運営についての所内研修を計画的に実施し、職員の資質を高めた。
- ② 研修会・講習会への積極的な参加によって、施設運営及び指導についての研修を深めることができた。
- ③ 県内における社会教育施設との連携を密にすることにより、研修効果を高めることができた。

3 職員組織

職名	所長	次長	主査	主事	主任社会 教育主事	指導 主事	社 会 会 教育主事	用 務 員 兼運転手	計
人員	1	1	1	1	1	5	1	1	12

第2節 施設・設備の概況

(1) 位 置

福島県河沼郡会津坂下町大字八日沢字西東山4495～1
(東経139°48′ 北緯37°34′ 標高222m)

(2) 敷地面積 251,432㎡

(3) 建 物

① 本館建物

ア 管理研修棟 (乾燥室を含む) 鉄筋コンクリート造2階建	998.8(㎡)
イ プレイホール 高床鉄筋平屋建	913.3
ウ 宿泊棟 (食堂を含む) 鉄筋コンクリート造2階建	2,471.5
エ アセンブリホール 鉄筋コンクリート造平屋建	397.7
オ 機械室棟 鉄筋コンクリート造3階建	261.4
カ 廊下 鉄骨造	99.8
計	5,142.5

② 野外建物

ア 浄化槽 鉄筋コンクリート平屋建	16.6(㎡)
イ ロッジ 木造平屋建 (10棟)	延 350.0
ウ 野外管理センター 鉄筋コンクリート平屋建	154.0
エ 炊事場 鉄筋コンクリート平屋建	84.0
オ 高置水槽 鉄筋コンクリート平屋建	36.0
カ 薪置倉庫 コンクリートブロック造平屋建	9.9

キ 車庫 鉄筋コンクリート造平屋建	49.6
ク 野外便所 鉄筋コンクリート造平屋建	53.8
計	753.9

③ 所長公舎

所長公舎 木造モルタル造平屋建	89.4(㎡)
-----------------	---------

④ 野外施設

ア フィールドアスレチック	25ポイント (約1km)
イ 野外活動コース	
・ フィールドワーク	3コース
・ オリエンテーリング	4コース
・ 遊歩道	7コース
ウ つどいの広場、いこいの広場	
エ 野外照明	
400W 4燈1基として	7基
400W 2燈1基として	2基
400W 1燈1基として	2基
オ 運動広場	
カ 営火場	3ヵ所
キ その他の野外活動施設	
スキー場、そり場、冒険の国、昆虫の森	

⑤ 宿泊定員

ア 本館	300名
イ ロッジ	150名 (5月12日～10月18日のみ使用)

⑥ 主な備品

ア 体育用備品

- ・ 屋内 卓球台、バドミントン、ドッジボール、ミニバスケットボール、タンバリン、跳びなわ (100人分)、キャンドルファイヤー用具、けん玉 (50人分)
- ・ 屋外 スキー用具 (180人分)、そり (150人分)、雪ぐつ (180人分)、輪かんじき (100人分)、スキー用ゼッケン (200人分)

イ 学芸用備品

クラフト用具 (切り絵、フレッシュブルカイト)
ピアノ、オルガン、アコーティオン、天体望遠鏡7基

ウ 視聴覚備品

16mm映写機、スライド映写機、OHP、ワイヤレスアンプ・マイク、カセットテープレコーダー

エ 野外活動備品

野外炊飯用具 (180人分)、寝袋 (200人分)、ハンドマイク、トランシーバー (2組)、キャンプファイヤー用具、ゼッケン (200人分)

第3節 利用状況

少年自然の家を利用できる者は、①小学校・中学校・養護学校の児童生徒及び引率者、②少年団体の構成員及び引率者③他所長が適当であると認めた者等に大別される。

本年度の利用団体は251団体、利用実人数は20,690人、利用延人数は48,726人である。利用状況の詳細は次のとおりである。